

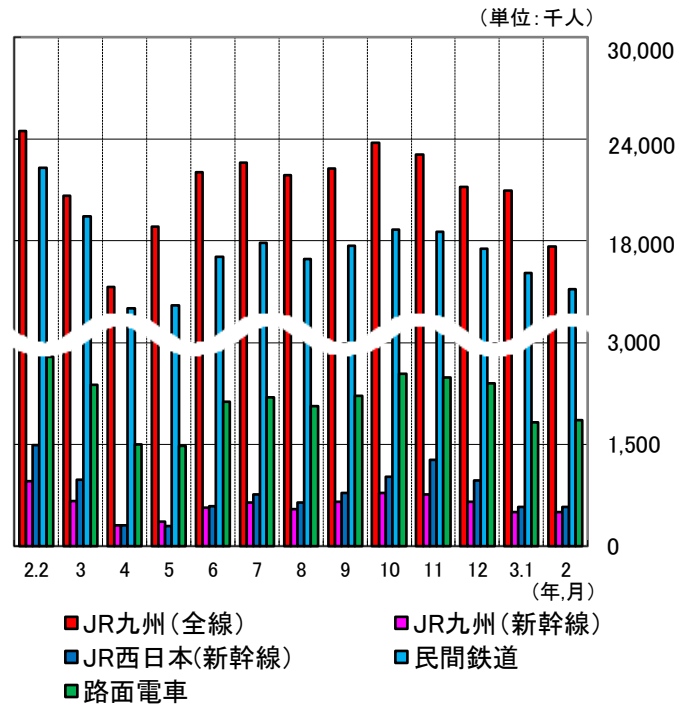
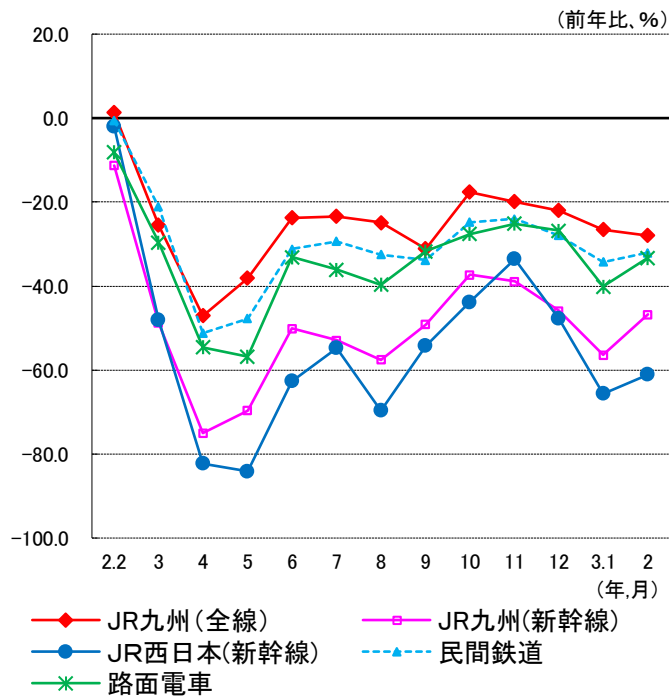
九州のうんゆ（令和3年2月実績）

令和3年4月20日公表

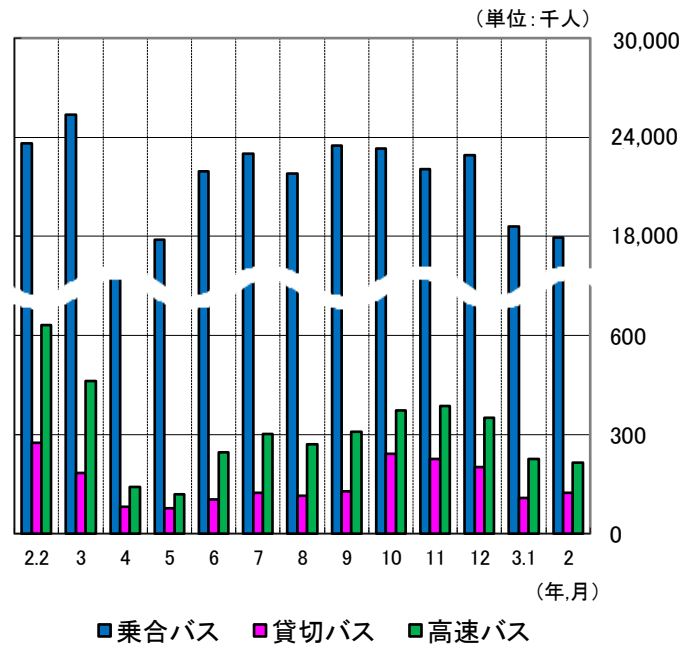
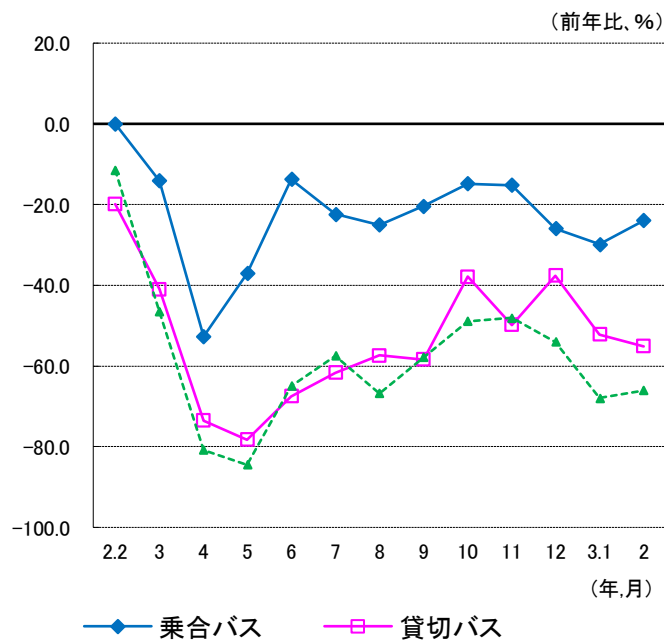
※物流のトラック一般貨物・海上貨物、造船は、令和3年1月実績を掲載。
※速報値のため修正する可能性があります。

輸送動向

鉄道《輸送人員》

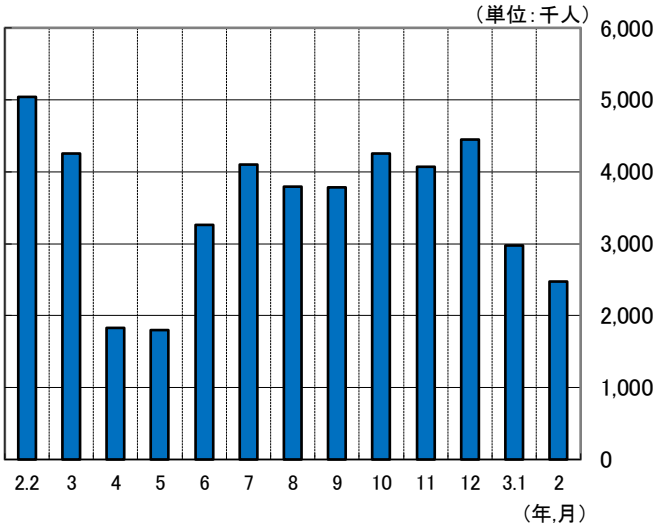
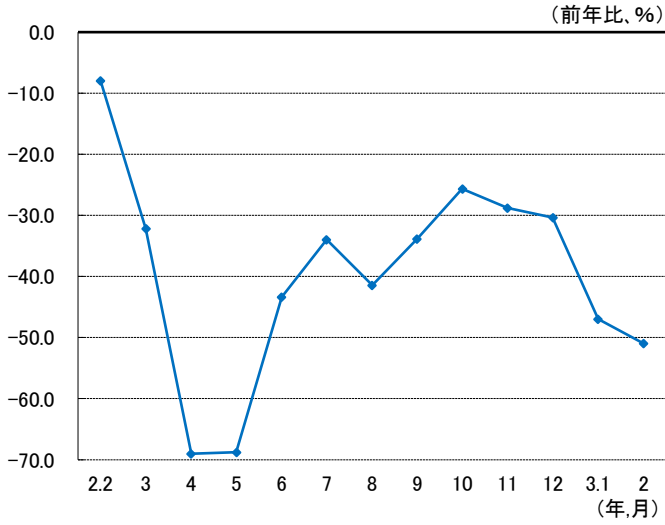


バス《輸送人員》

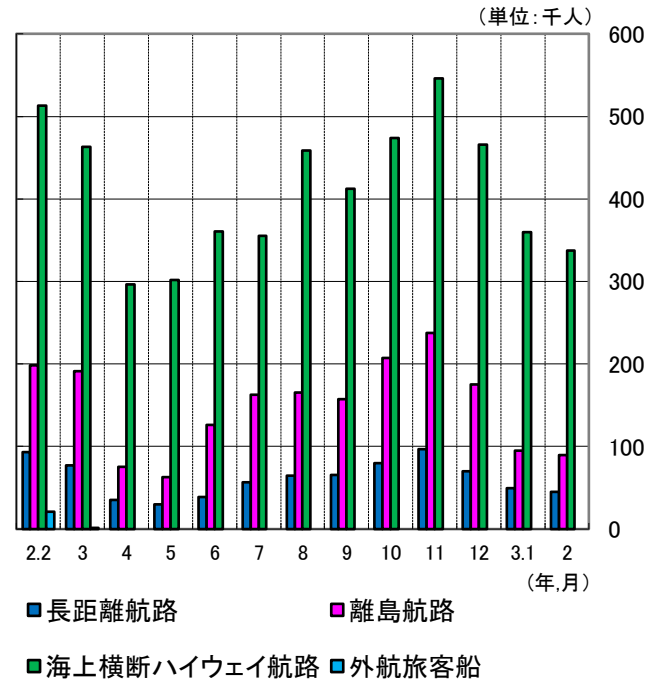
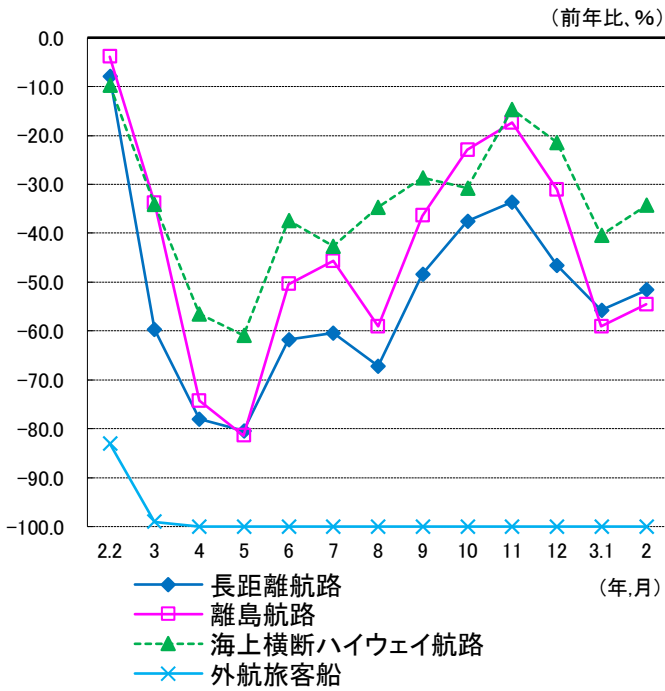


九州運輸局 交通政策部 交通企画課
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1
TEL 092-472-2315 <https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/body.htm>

タクシー《輸送人員》

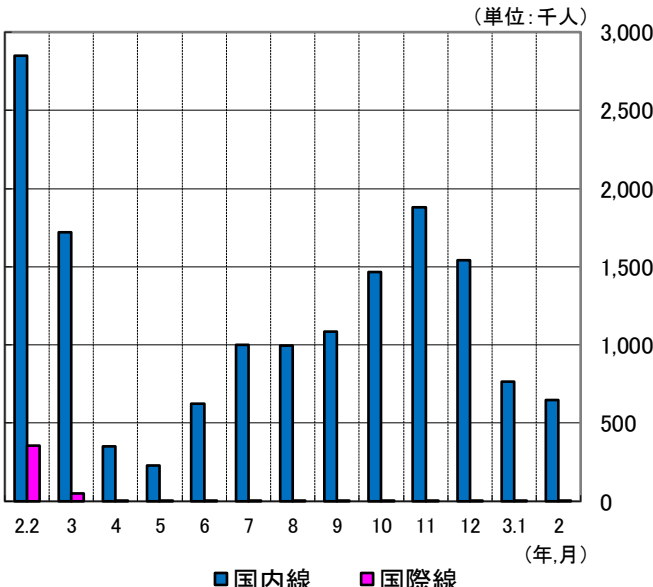
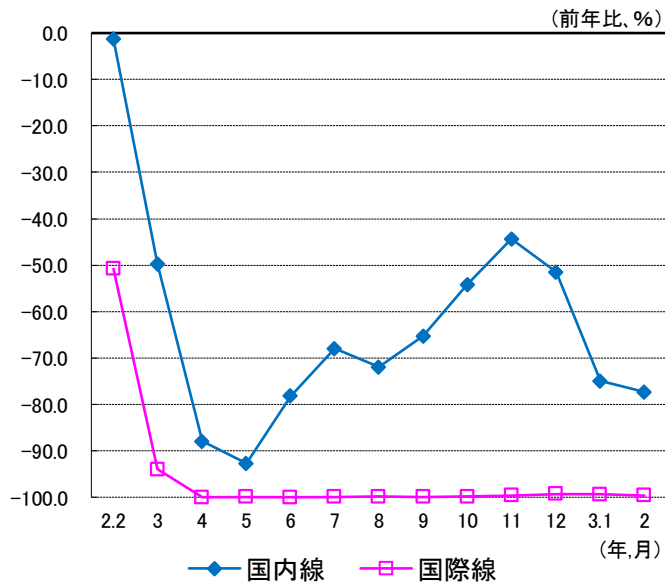


旅客船《輸送人員》

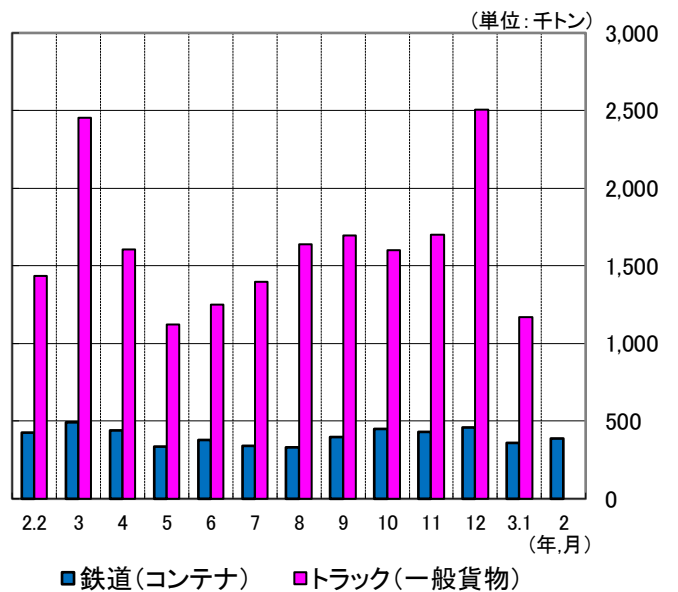
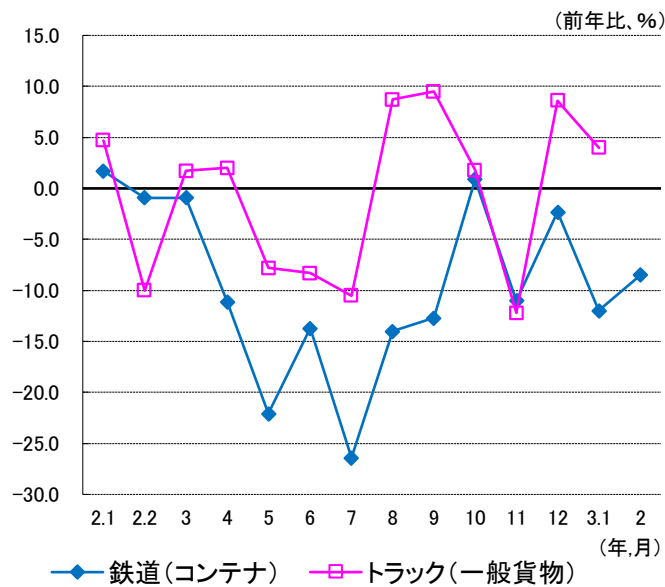


注1) 海上横断ハイウェイ航路とは、有明海、鹿児島湾などの湾内等を横断する航路をいう。
 注2) 外航旅客船とは、日韓旅客定期航路をいう。

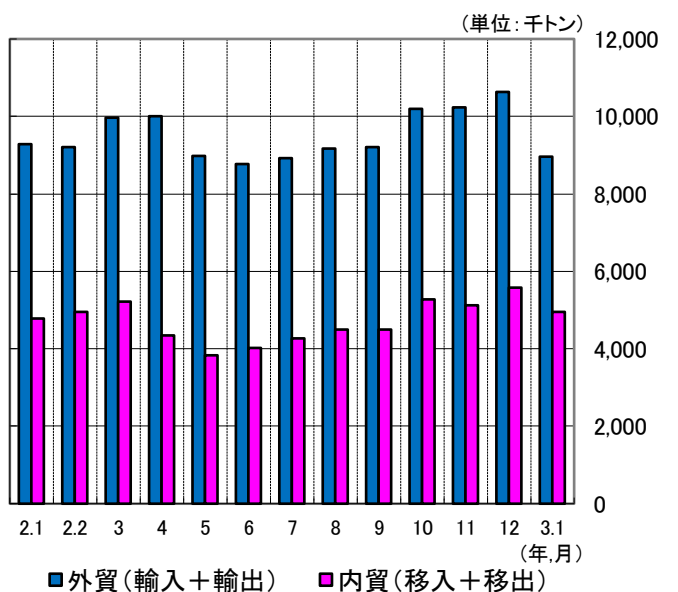
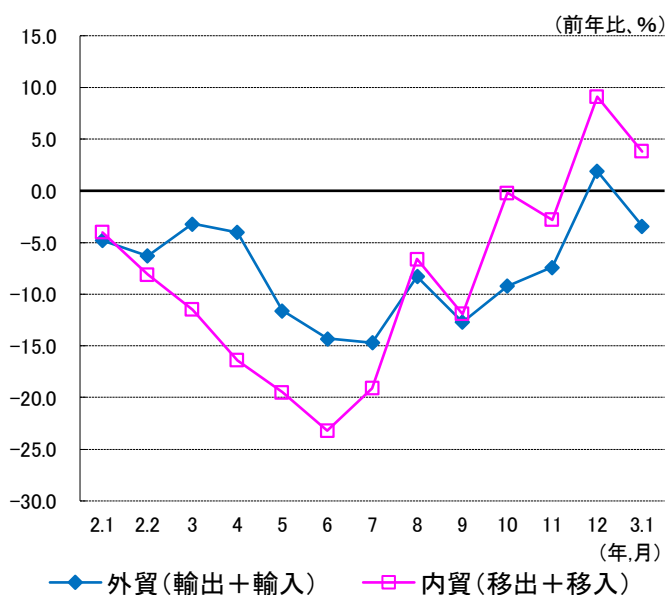
航空《乗降客数》



鉄道・トラック《物資輸送量》



海上貨物《船舶積卸し実績(九州の23指定港)》

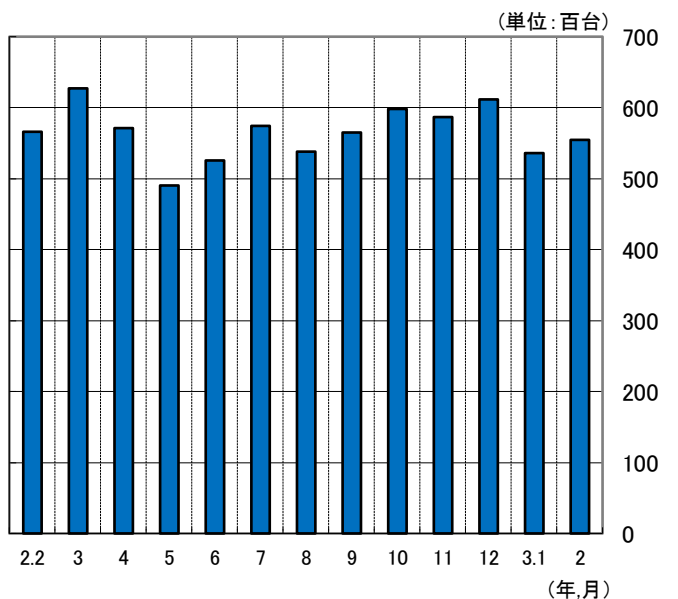
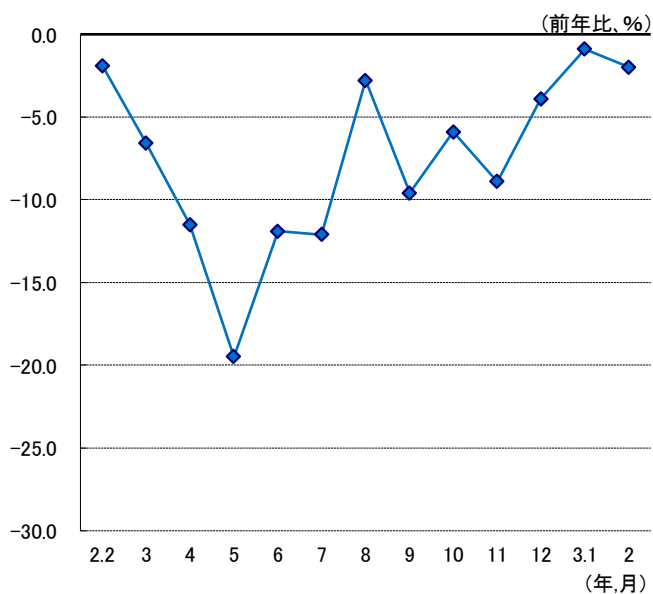


指定港湾: 港湾運送事業法の適用対象となる港湾。九州運輸局管内では、以下の23港湾。

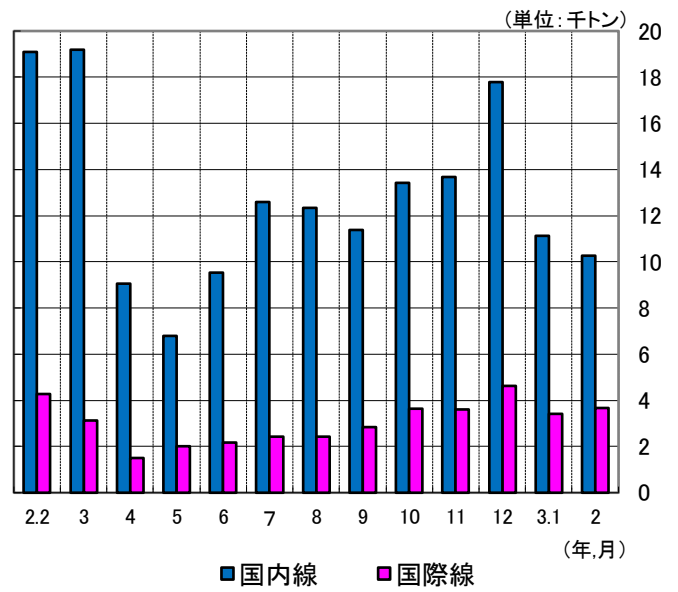
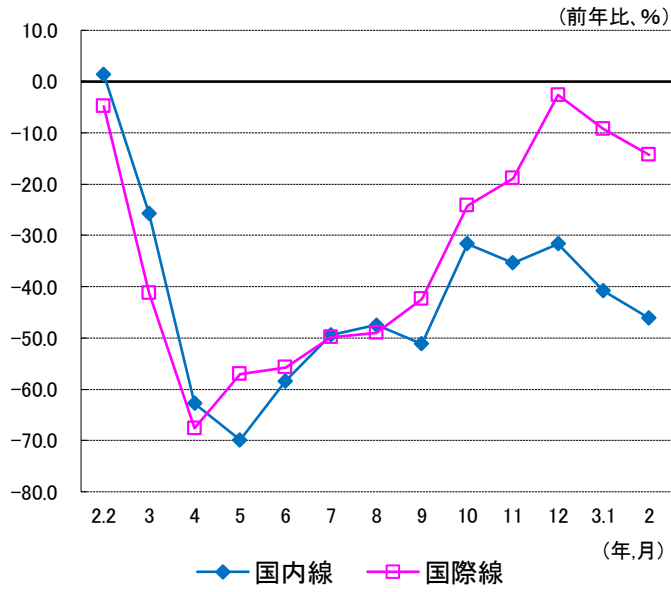
関門・博多・三池・水俣・鹿児島・宇部・小野田・苅田・大牟田・唐津・伊万里・臼浦・相浦・佐世保・長崎・三角・八代・大分・津久見・佐伯・細島・油津・名瀬

長距離フェリー《トラック航送台数》

※貨物フェリーを除く

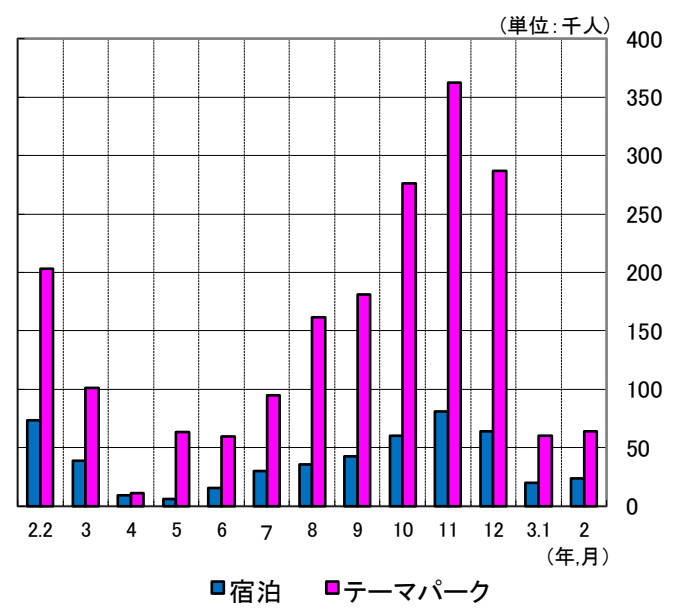
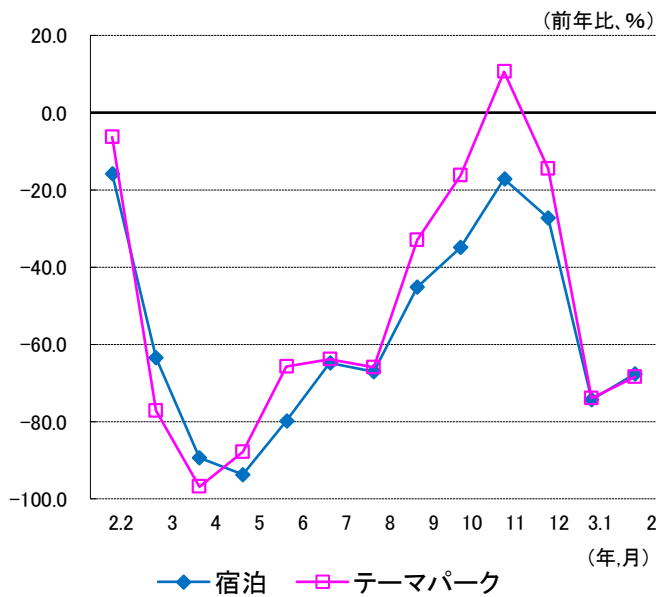


航空貨物《輸送量》

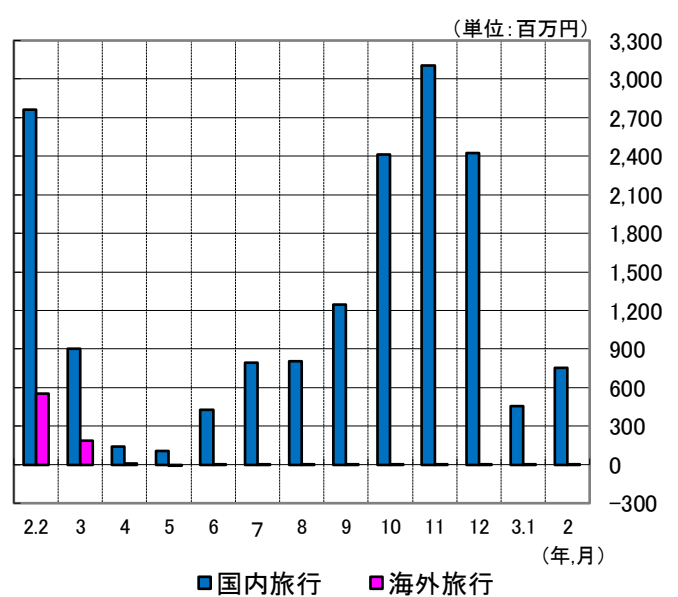
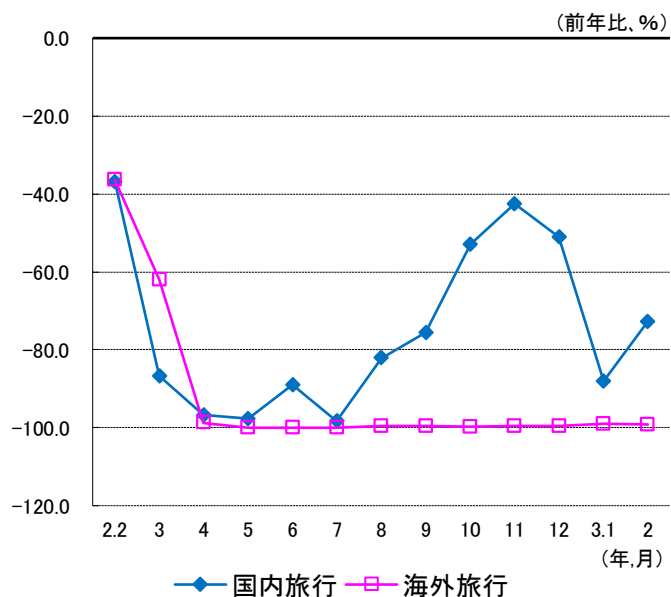


観光

観光《宿泊・入場者数》

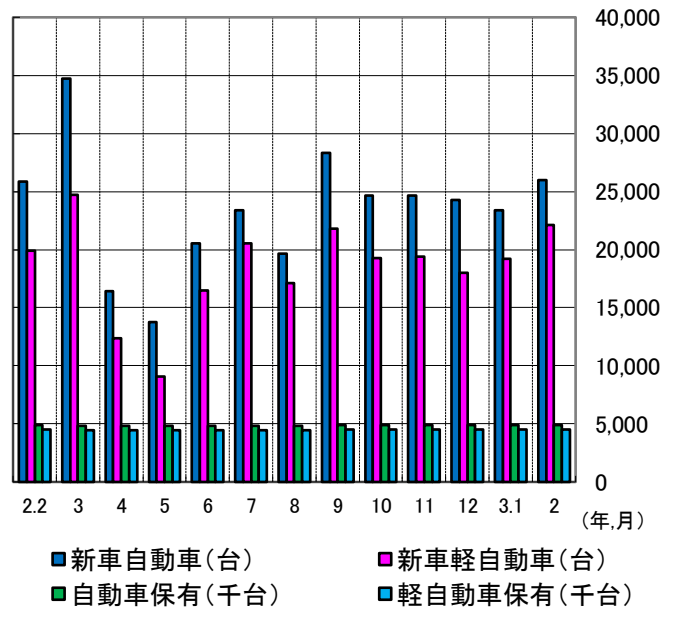
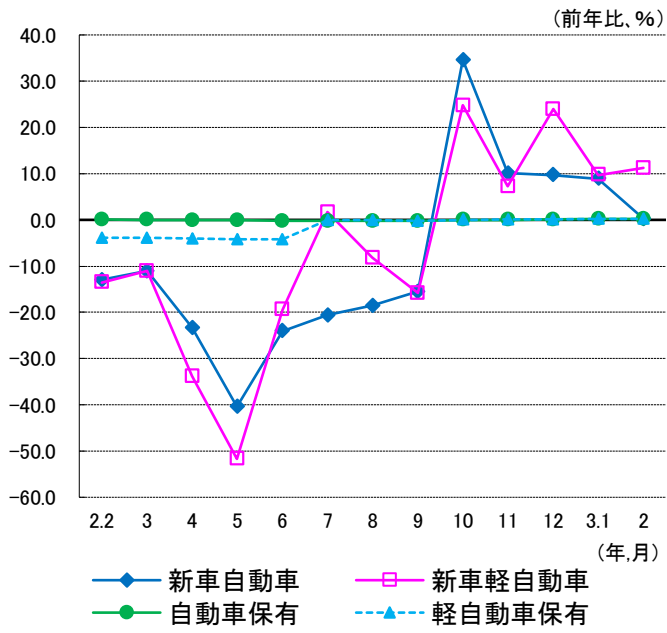


旅行業《取扱額》

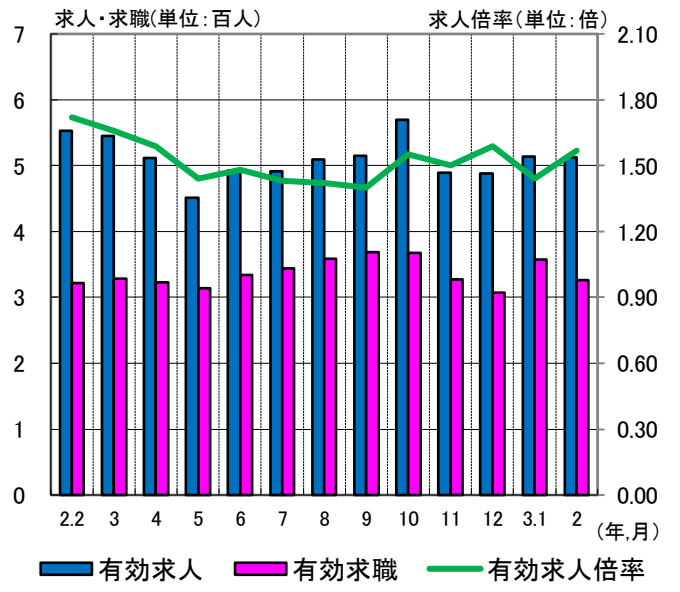
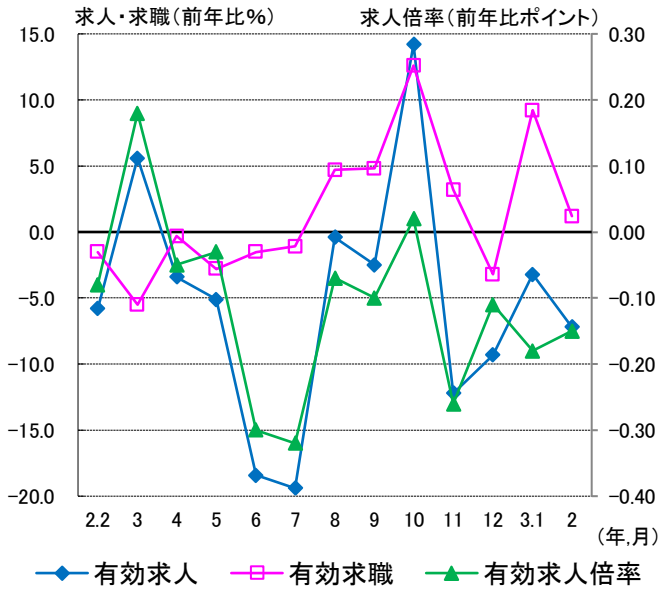


その他

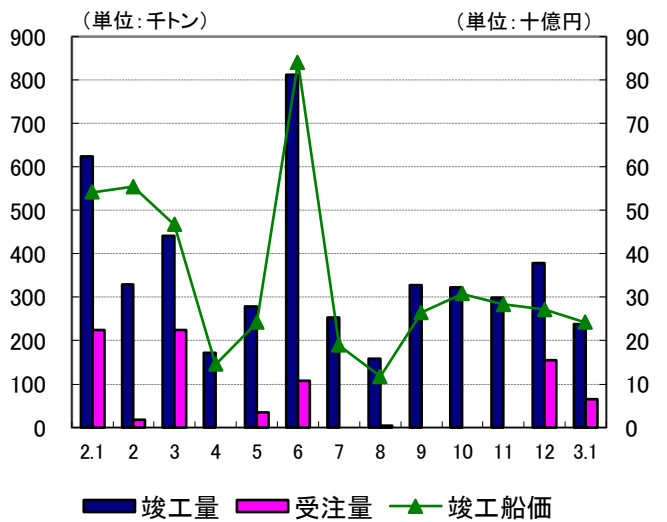
自動車の新車・保有 《登録・届出台数・保有台数》



船員 《有効求人・有効求職数》



造船 《竣工量・受注量・竣工船価》



I 旅客

※数値はサンプル調査も含む。(サンプル調査には項目に☆を付記)
 詳細は統計データ備考欄を参照。前年同月比は増減比を表し、
 10%以上プラス、マイナスは数値を**赤太字**で表記

鉄 道	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
JR九州(全線)	17,653	24,476	20,967	△ 27.9	12ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
JR九州(新幹線)	507	953	507	△ 46.8	1年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
JR西日本(新幹線)	577	1,484	581	△ 61.1	1年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 民間鉄道	15,149	22,317	16,089	△ 32.1	1年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
路面電車	1,861	2,790	1,825	△ 33.3	1年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

バ ス	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
☆ 乗合バス	17,945	23,612	18,595	△ 24.0	12ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 貸切バス	123	274	107	△ 55.1	1年11ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 高速バス	214	631	227	△ 66.1	1年7ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

タクシー	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
福岡県内	2,475	5,037	2,980	△ 50.9	5年5ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

旅客船	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
長距離航路	45	93	50	△ 51.6	1年2ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 離島航路	90	198	95	△ 54.5	1年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
海上横断ハイウェイ航路	337	513	360	△ 34.3	1年8ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
外航旅客船	0	21	0	△ 100.0	1年11ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。 全航路で旅客輸送を停止。

航空	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
国内線	648	2,850	765	△ 77.3	1年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
国際線	1	354	3	△ 99.6	1年7ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

Ⅱ 物流

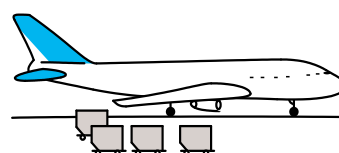
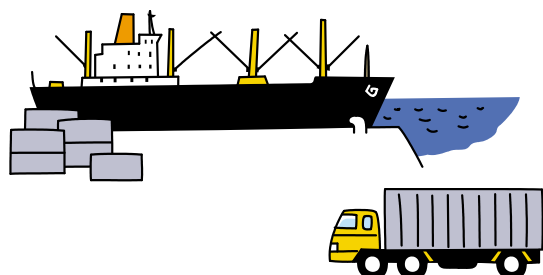
鉄道	輸送トン数(千トン)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
車扱	0.73	1.20	0.43	△ 39.2	レール交換等の需要が一時的に減少したことによる減。
コンテナ	389	425	360	△ 8.5	

トラック	輸送トン数(千トン)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
☆ 特別積合せ	151	161	147	△ 6.2	
☆ 一般貨物	3年1月 1,168	前年同月 1,123	先月 2,507	(%) 4.0	

海上貨物 (港湾運送)	船舶積卸し実績(千トン)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年1月	前年同月	先月		
☆ 外 貿	8,968	9,285	10,631	△ 3.4	
☆ 内 貿	4,962	4,782	5,582	3.8	

長距離フェリー	航送台数			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
トラック航送 (貨物フェリーを除く)	55,480	56,592	53,641	△ 2.0	1年5ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

航空貨物	取扱トン数			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
国内線	10,279	19,086	11,114	△ 46.1	12ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
国際線	3,656	4,266	3,427	△ 14.3	2年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。



Ⅲ 観光

観光	宿泊・入場者数(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
☆ 宿泊	24	74	20	△ 67.7	1年6ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ テーマパーク	64	203	60	△ 68.4	新型コロナウイルスの影響による減。

旅行業	取扱額(百万円)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
☆ 国内旅行	753	2,760	458	△ 72.7	1年5ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 海外旅行	5	553	6	△ 99.1	1年7ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

Ⅳ 自動車登録・保有

新車・保有	登録・届出台数(台)、保有台数(千台)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
(自動車)新車登録(台)	25,977	25,887	23,358	0.3	
(軽自動車)新車届出(台)	22,149	19,923	19,216	11.2	
自動車保有(千台)	4,884	4,875	4,881	0.2	
軽自動車保有(千台)	4,503	4,493	4,503	0.2	令和元年7月からの軽二輪の届出事 務電算化に伴い現在精査中であるた め、軽二輪を除いた値を計上。

Ⅴ 船員雇用情勢

船員雇用	有効求人・有効求職者数(人)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年2月	前年同月	先月		
有効求人数	513	553	514	△ 7.2	有効求人倍率1.57倍。 (前年同月比 0.15ポイント減。全国 では、2倍超で推移している。)
有効求職者数	326	322	357	1.2	

Ⅵ 造船

造船	竣工量・受注量(トン数)・竣工船価(百万円)			前年同月比 (%)	特記事項
	3年1月	前年同月	先月		
☆ 竣工量	238,861	624,260	377,873	△ 61.7	
☆ 受注量	65,620	223,520	155,500	△ 70.6	
☆ 竣工船価	24	54	27	△ 55.4	

統計データ

※貸切バス 令和2年2月の輸送人員の数値を、258千人 274千人へ修正を行った。

3 タクシー

年 月	タクシー		
	輸送人員 (千人)	前年同期比 (%)	実車率 (%)
元年計	71,124	△ 5.0	41.5
2年計	46,239	△ 35.0	37.0
2年2月	5,037	△ 8.0	40.0
3月	4,249	△ 32.2	35.7
4月	1,829	△ 69.0	27.0
5月	1,798	△ 68.8	33.7
6月	3,262	△ 43.3	37.8
7月	4,097	△ 34.0	38.1
8月	3,794	△ 41.4	36.4
9月	3,785	△ 33.8	38.1
10月	4,257	△ 25.6	38.4
11月	4,065	△ 28.8	38.4
12月	4,445	△ 30.4	39.3
3年1月	2,980	△ 47.0	34.2
2月	2,475	△ 50.9	34.5
備考	福岡県内事業者の合計値		
担当部課	自動車交通部旅客第二課		

4 旅客船輸送

年 月	国内フェリー						外航旅客船			
	長距離航路		離島航路		海上横断ハイウェイ航路		輸送人員 (人)			前年同期比 (%)
	輸送人員 (千人)	前年同期比 (%)	輸送人員 (千人)	前年同期比 (%)	輸送人員 (千人)	前年同期比 (%)	日本人	外国人	合計	
元年計	1,696	5.3	3,370	0.2	7,757	△ 4.2	125,033	735,779	860,812	△ 37.1
2年計	822	△ 51.5	1,990	△ 40.9	5,251	△ 32.3	14,494	43,290	57,784	△ 93.3
2年2月	93	△ 7.9	198	△ 3.9	513	△ 9.7	5,599	15,115	20,714	△ 83.0
3月	77	△ 59.7	191	△ 33.7	463	△ 34.1	225	936	1,161	△ 99.0
4月	35	△ 78.0	75	△ 74.2	296	△ 56.5	0	0	0	△ 100.0
5月	30	△ 80.4	63	△ 81.4	302	△ 60.9	0	0	0	△ 100.0
6月	39	△ 61.8	126	△ 50.4	361	△ 37.4	0	0	0	△ 100.0
7月	57	△ 60.4	163	△ 45.7	355	△ 42.6	0	0	0	△ 100.0
8月	65	△ 67.2	165	△ 59.1	459	△ 34.7	0	0	0	△ 100.0
9月	66	△ 48.4	157	△ 36.4	412	△ 28.7	0	0	0	△ 100.0
10月	80	△ 37.5	207	△ 23.0	474	△ 30.7	0	0	0	△ 100.0
11月	97	△ 33.6	238	△ 17.4	546	△ 14.6	0	0	0	△ 100.0
12月	70	△ 46.6	175	△ 31.1	466	△ 21.4	0	0	0	△ 100.0
3年1月	50	△ 55.8	95	△ 59.1	360	△ 40.4	0	0	0	△ 100.0
2月	45	△ 51.6	90	△ 54.5	337	△ 34.3	0	0	0	△ 100.0
備考	管内Bにおける関東・関西方面長距離事業者5社8航路の合計値		管内B主要12社16航路の合計値		管内B6社6航路の合計値		管内B8事業者10航路の合計値			
担当部課	海事振興部旅客課									

注1) 海上横断ハイウェイ航路(海道ハイウェイ航路改め)とは、有明海、鹿児島湾などの湾内等を横断する航路をいう。

注2) 外航旅客船とは、日韓旅客定期航路をいう。

5 航 空 輸 送

年 月	航 空			
	国 内 路 線		国 際 路 線	
	乗降客数 (千人)	前年同期比 (%)	乗降客数 (千人)	前年同期比 (%)
元年計	37,791	2.6	7,775	△ 5.7
2年計	16,806	△ 55.5	999	△ 87.2
2年2月	2,850	△ 1.3	354	△ 50.8
3月	1,718	△ 49.8	49	△ 94.0
4月	353	△ 88.0	0	△ 100.0
5月	230	△ 92.7	0	△ 99.9
6月	625	△ 78.2	0	△ 100.0
7月	999	△ 68.0	1	△ 99.9
8月	994	△ 72.0	1	△ 99.8
9月	1,085	△ 65.3	1	△ 99.9
10月	1,468	△ 54.2	1	△ 99.8
11月	1,881	△ 44.4	2	△ 99.6
12月	1,543	△ 51.5	4	△ 99.3
3年1月	765	△ 75.0	3	△ 99.4
2月	648	△ 77.3	1	△ 99.6
備考	九州主要 8空港の合計値		九州主要 8空港の合計値	
担当部課	大 阪 航 空 局			

(注) 九州主要8空港は、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島空港である。

II 物 流 1 鉄 道 輸 送

年 月	鉄 道					
	車 扱 い		コ ン テ ナ		合 計	
	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)
元年計	30.09	20.0	5,410	21.1	5,440	21.1
2年計	32.60	8.3	4,883	△ 9.7	4,916	△ 9.6
2年2月	1.20	△ 70.5	425	△ 0.9	426	△ 1.6
3月	3.32	281.6	492	△ 5.0	495	△ 4.6
4月	4.01	326.6	440	△ 11.1	444	△ 10.5
5月	3.87	△ 3.5	335	△ 22.1	339	△ 21.9
6月	4.22	13.4	378	△ 13.7	382	△ 13.5
7月	3.94	7.7	340	△ 26.4	344	△ 26.1
8月	1.89	△ 41.5	332	△ 14.0	334	△ 14.2
9月	1.96	△ 42.0	397	△ 12.7	399	△ 13.0
10月	3.18	52.2	448	0.9	451	1.1
11月	2.64	107.9	429	△ 11.0	432	△ 10.7
12月	1.61	274.4	458	△ 2.3	460	△ 2.1
3年1月	0.43	△ 43.4	360	△ 12.0	360	△ 12.0
2月	0.73	△ 39.2	389	△ 8.5	390	△ 8.6
備考						
担当部課	鉄 道 部 計 画 課					

2 貨物自動車輸送

年月	貨物自動車			
	特別積合せ		一般貨物	
	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)
元年計	2,048	△ 2.5	19,662	△ 4.8
2年計	1,963	△ 4.1	19,523	△ 0.7
2年1月	151	△ 2.6	1,123	4.7
2月	161	△ 1.8	1,435	△ 10.0
3月	180	△ 1.2	2,451	1.7
4月	172	△ 7.1	1,606	2.0
5月	135	△ 14.0	1,121	△ 7.8
6月	163	0.6	1,248	△ 8.3
7月	170	△ 7.7	1,397	△ 10.5
8月	145	△ 6.5	1,638	8.7
9月	162	△ 7.0	1,695	9.5
10月	174	△ 1.6	1,602	1.8
11月	168	△ 2.3	1,699	△ 12.2
12月	182	1.1	2,507	8.6
3年1月	147	△ 2.6	1,168	4.0
2月	151	△ 6.2		
備考	管内A主要 2社の合計値		管内A主要 170社の合計値	
担当部課	自動車交通部貨物課			

3 海上貨物

(1) 港湾運送

年月	船舶積卸し実績					
	外貿船舶取扱量		内貿船舶取扱量		合計	
	23指定港の合計量		23指定港の合計量			
	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)
元年計	124,075	1.0	62,774	△ 1.1	186,849	0.3
2年計	114,375	△ 7.8	55,929	△ 10.9	170,304	△ 8.9
2年1月	9,285	△ 4.8	4,782	△ 4.0	14,067	△ 4.5
2月	9,212	△ 6.3	4,960	△ 8.1	14,172	△ 6.9
3月	9,960	△ 3.2	5,212	△ 11.5	15,172	△ 6.2
4月	10,013	△ 4.0	4,352	△ 16.4	14,365	△ 8.1
5月	8,983	△ 11.6	3,828	△ 19.5	12,811	△ 14.1
6月	8,772	△ 14.3	4,021	△ 23.2	12,793	△ 17.3
7月	8,916	△ 14.7	4,261	△ 19.1	13,177	△ 16.2
8月	9,161	△ 8.3	4,491	△ 6.6	13,652	△ 7.7
9月	9,207	△ 12.7	4,493	△ 11.9	13,700	△ 12.4
10月	10,188	△ 9.2	5,285	△ 0.2	15,473	△ 6.3
11月	10,243	△ 7.4	5,127	△ 2.8	15,370	△ 5.9
12月	10,631	1.9	5,582	9.1	16,213	4.3
3年1月	8,968	△ 3.4	4,962	3.8	13,930	△ 1.0
備考						
担当部課	海事振興部港運課					

指定港湾・・・港湾運送事業法の適用対象となる港湾。九州では23港湾。

関門・博多・三池・水俣・鹿児島・宇部・小野田・苅田・大牟田・唐津・伊万里・臼浦・相浦・佐世保・長崎・三角・八代・大分・津久見・佐伯・細島・油津・名瀬

(2) コンテナ荷役

年月	船舶積卸し実績					
	外貿コンテナ		内貿コンテナ		合計	
	23指定港の合計量		23指定港の合計量			
	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)
元年計	50,031	5.3	7,804	6.8	57,835	5.5
2年計	51,505	2.9	6,964	△ 10.8	58,469	1.1
2年1月	3,933	△ 2.9	478	△ 17.0	4,411	△ 4.7
2月	3,379	△ 9.9	561	△ 1.2	3,940	△ 8.8
3月	4,281	△ 1.7	607	△ 3.7	4,888	△ 1.9
4月	4,152	△ 4.0	557	△ 11.0	4,709	△ 4.8
5月	3,648	△ 12.6	449	△ 13.2	4,097	△ 12.7
6月	3,785	△ 14.5	501	△ 18.1	4,286	△ 15.0
7月	3,593	△ 21.8	544	△ 5.9	4,137	△ 20.0
8月	3,532	△ 13.3	565	△ 7.5	4,097	△ 12.6
9月	3,843	△ 10.6	602	8.5	4,445	△ 8.4
10月	4,037	△ 10.6	645	14.2	4,682	△ 7.9
11月	4,104	△ 8.2	627	8.1	4,731	△ 6.3
12月	4,184	△ 6.4	596	9.2	4,780	△ 4.7
3年1月	3,615	△ 8.1	505	5.6	4,120	△ 6.6
備考	海事振興部港運課					

指定港湾・・・港湾運送事業法の適用対象となる港湾。九州では23港湾。

関門・博多・三池・水俣・鹿児島・宇部・小野田・苅田・大牟田・唐津・伊万里・臼浦・相浦・佐世保・長崎・三角・八代・大分・津久見・佐伯・細島・油津・名瀬

(3)トラック航送台数

年月	国内フェリー	
	長距離フェリー	
	トラック航送台数 (台)	前年同期比 (%)
元年計	742,270	0.8
2年計	679,468	△ 8.5
2年2月	56,592	△ 1.9
3月	62,743	△ 6.6
4月	57,066	△ 11.5
5月	48,997	△ 19.5
6月	52,541	△ 11.9
7月	57,428	△ 12.1
8月	53,828	△ 2.8
9月	56,492	△ 9.6
10月	59,800	△ 5.9
11月	58,713	△ 8.9
12月	61,116	△ 3.9
3年1月	53,641	△ 0.9
2月	55,480	△ 2.0
備考	管内Bにおける関東・関西方面長距離事業者5社8航路の合計値	
担当部課	海事振興部旅客課	

(注)貨物フェリーを除く。

4 航 空 輸 送

年 月	航 空			
	国内線(発着貨物)		国際線(発着貨物)	
	取扱トン数 (トン)	前年同期比 (%)	取扱トン数 (トン)	前年同期比 (%)
元年計	271,769	2.8	57,904	△ 18.6
2年計	163,695	△ 39.8	36,460	△ 37.0
2年2月	19,086	1.4	4,266	△ 4.8
3月	19,187	△ 25.7	3,142	△ 41.2
4月	9,072	△ 62.8	1,516	△ 67.6
5月	6,798	△ 69.9	2,015	△ 57.1
6月	9,524	△ 58.4	2,176	△ 55.7
7月	12,608	△ 49.5	2,431	△ 49.9
8月	12,354	△ 47.5	2,424	△ 49.0
9月	11,384	△ 51.2	2,836	△ 42.4
10月	13,416	△ 31.6	3,652	△ 24.2
11月	13,683	△ 35.4	3,603	△ 18.9
12月	17,796	△ 31.6	4,621	△ 2.6
3年1月	11,114	△ 40.8	3,427	△ 9.3
2月	10,279	△ 46.1	3,656	△ 14.3
備考	九州主要 8空港の合計値		九州主要 8空港の合計値	
担当部課	大阪航空局			

(注1) 九州主要8空港は、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島空港である。

Ⅲ 観 光 ・ そ の 他

1 観 光

(1) ホ テ ル ・ 旅 館 宿 泊

年 月	ホ テ ル ・ 旅 館			
	宿泊者数 (千人)	前年同期比 (%)	ホテル	旅館
			客室稼働率 (%)	定員稼働率 (%)
元年計	1,099	0.9	75.9	32.9
2年計	1,087	△ 1.1	75.8	32.7
2年2月	74	△ 15.8	71.1	24.5
3月	39	△ 63.5	38.0	13.1
4月	9	△ 89.4	11.2	1.8
5月	6	△ 93.7	9.3	0.6
6月	16	△ 79.9	22.3	2.6
7月	30	△ 64.8	31.8	9.8
8月	36	△ 67.0	30.0	15.9
9月	43	△ 45.1	44.2	13.8
10月	60	△ 34.9	52.2	22.1
11月	81	△ 17.1	68.4	32.1
12月	64	△ 27.7	52.6	24.3
3年1月	20	△ 74.4	20.1	5.1
2月	24	△ 67.7	29.5	5.4
備考	管内A主要 16社の合計値			
担当部課	観光部観光企画課			

(2) テ ー マ パ ー ク 入 場 者

年 月	テ ー マ パ ー ク 入 場 者	
	入場者数 (千人)	前年同期比 (%)
元年計	4,057	△ 1.0
2年計	3,949	△ 2.7
2年2月	203	△ 6.3
3月	101	△ 77.2
4月	11	△ 96.9
5月	63	△ 87.9
6月	60	△ 65.8
7月	95	△ 63.9
8月	162	△ 65.9
9月	181	△ 33.0
10月	276	△ 16.3
11月	362	10.6
12月	287	△ 14.6
3年1月	60	△ 73.9
2月	64	△ 68.4
備考	管内A主要 3施設の合計値	
担当部課	観光部観光企画課	

(3) 旅行業

年 月	旅 行 業					
	国内旅行		海外旅行		合 計	
	取 扱 額 (百万円)	前年同期比 (%)	取 扱 額 (百万円)	前年同期比 (%)	取 扱 額 (百万円)	前年同期比 (%)
元年計	62,008	△ 13.9	12,199	0.6	74,207	△ 11.8
2年計	55,686	△ 10.2	11,235	△ 7.9	66,922	△ 9.8
2年2月	2,760	△ 36.8	553	△ 36.4	3,313	△ 36.7
3月	900	△ 81.9	186	△ 83.3	1,086	△ 82.2
4月	142	△ 96.7	11	△ 98.7	153	△ 97.0
5月	107	△ 97.6	△ 2	△ 100.2	105	△ 97.9
6月	427	△ 88.9	0	△ 100.0	427	△ 90.9
7月	792	△ 83.2	0	△ 100.0	792	△ 86.2
8月	806	△ 82.1	5	△ 99.5	810	△ 85.0
9月	1,245	△ 75.6	4	△ 99.5	1,249	△ 78.8
10月	2,413	△ 52.9	2	△ 99.8	2,415	△ 60.7
11月	3,108	△ 42.5	5	△ 99.6	3,113	△ 52.4
12月	2,422	△ 51.1	5	△ 99.6	2,428	△ 60.5
3年1月	458	△ 88.1	6	△ 99.0	464	△ 89.6
2月	753	△ 72.7	5	△ 99.1	758	△ 77.1
備 考	管内 A 主要 4 社の合計値					
担当部課	観光部 観光企画課					

IV 自動車登録

1 自動車登録・保有

年 月	自 動 車 登 録				自 動 車 保 有			
	自動車・新車		軽自動車・新車		自 動 車		軽 自 動 車	
	登録台数 (台)	前年同期比 (%)	届出台数 (台)	前年同期比 (%)	保有車両数 (千台)	前年同期比 (%)	保有車両数 (千台)	前年同期比 (%)
元年計	314,502	△ 1.8	242,237	△ 2.1	4,868	0.2	4,574	△ 1.8
2年計	277,762	△ 11.7	216,203	△ 10.7	4,865	△ 0.1	4,479	△ 2.1
2年2月	25,887	△ 13.0	19,923	△ 13.5	4,875	0.1	4,493	△ 3.9
3月	34,729	△ 11.0	24,700	△ 11.1	4,853	0.0	4,443	△ 3.9
4月	16,419	△ 23.3	12,374	△ 33.8	4,851	△ 0.1	4,455	△ 4.1
5月	13,788	△ 40.4	9,067	△ 51.7	4,849	△ 0.1	4,458	△ 4.2
6月	20,535	△ 24.0	16,486	△ 19.4	4,853	△ 0.2	4,466	△ 4.2
7月	23,380	△ 20.6	20,519	1.7	4,860	△ 0.2	4,476	△ 0.1
8月	19,637	△ 18.5	17,118	△ 8.2	4,862	△ 0.2	4,481	△ 0.1
9月	28,357	△ 15.5	21,828	△ 15.8	4,870	△ 0.2	4,489	△ 0.2
10月	24,675	34.6	19,272	24.8	4,872	△ 0.0	4,493	0.0
11月	24,660	10.1	19,370	7.3	4,876	△ 0.0	4,499	0.1
12月	24,244	9.7	18,032	24.0	4,881	0.1	4,501	0.1
3年1月	23,358	8.9	19,216	9.7	4,881	0.2	4,503	0.2
2月	25,977	0.3	22,149	11.2	4,884	0.2	4,503	0.2
備考	管内 A の合計値							
担当部課	自動車技術安全部管理課							

(注) 自動車保有車両数の年計の数値は、当該年の月平均の数値である。

V 船員雇用情勢
1 求人・求職者数

年 月	船 員 雇 用 情 勢					
	求 人		求 職		有効求人倍率 (A/B) (倍)	前年同期比 (ポイント)
	有効求人人数(A) (人)	前年同期比 (%)	有効求職数(B) (人)	前年同期比 (%)		
元年計	541	13.8	332	△ 5.2	1.63	0.13
2年計	512	△ 5.4	335	1.0	1.53	0.27
2年2月	553	△ 5.8	322	△ 1.5	1.72	△ 0.08
3月	545	5.6	329	△ 5.5	1.66	0.18
4月	512	△ 3.4	323	△ 0.3	1.59	△ 0.05
5月	451	△ 5.1	314	△ 2.8	1.44	△ 0.03
6月	493	△ 18.4	334	△ 1.5	1.48	△ 0.30
7月	491	△ 19.4	344	△ 1.1	1.43	△ 0.32
8月	509	△ 0.4	359	4.7	1.42	△ 0.07
9月	515	△ 2.5	369	4.8	1.40	△ 0.10
10月	570	14.2	367	12.6	1.55	0.02
11月	489	△ 12.2	327	3.2	1.50	△ 0.26
12月	488	△ 9.3	307	△ 3.2	1.59	△ 0.11
3年1月	514	△ 3.2	357	9.2	1.44	△ 0.18
2月	513	△ 7.2	326	1.2	1.57	△ 0.15
備考	管内Bの合計値					
担当部課	海事振興部船員労政課					

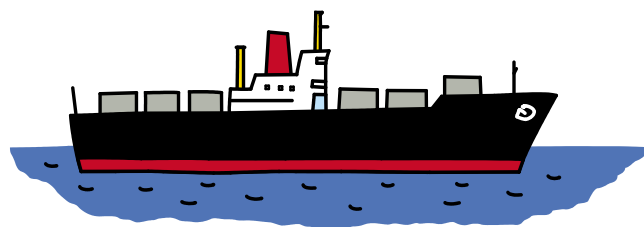
(注)年計の数値は、当該年の月平均の数値である。

VI 造船

年 月	造 船					
	新 造 船					
	竣工量 (総トン数)	前年同期比 (%)	受注量 (総トン数)	前年同期比 (%)	竣工船価 (百万円)	前年同期比 (%)
元年計	4,364,243	6.5	1,052,539	△ 47.9	455,712	△ 8.8
2年計	4,982,067	14.2	775,539	△ 26.3	527,831	15.8
2年1月	624,260	80.7	223,520	0.0	54,134	24.1
2月	329,433	△ 7.3	17,900	0.0	55,475	15.3
3月	441,306	△ 11.3	223,750	17.2	46,679	△ 40.2
4月	172,087	△ 64.7	0	0.0	14,529	△ 58.1
5月	279,524	△ 46.3	35,200	△ 29.6	24,181	△ 60.4
6月	811,643	120.9	106,999	9368.9	84,080	133.3
7月	253,797	△ 52.5	0	0.0	18,954	△ 62.5
8月	158,044	△ 62.5	4,250	△ 95.2	11,758	△ 73.2
9月	327,702	6.7	0	0.0	26,449	△ 28.0
10月	322,437	△ 30.4	0	0.0	30,821	△ 23.6
11月	299,829	△ 8.1	0	0.0	28,307	△ 14.4
12月	377,873	5.9	155,500	△ 16.5	27,132	25.6
3年1月	238,861	△ 61.7	65,620	△ 70.6	24,153	△ 55.4
備考	管内B主要 13社の合計値					
担当部課	海事振興部船舶産業課					

～凡 例～

1. 特記しない限り、「年度」は4月1日から翌年3月31日まで、「暦年」は1月1日から12月31日までとした。
2. 各欄に単位未満の数値がある場合は、原則として四捨五入した。従って、合計値と内訳数値が一致しない場合がある。
3. 用語の使い分けは、次のとおりである。
「管内A」・・・福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県
「管内B」・・・上記九州7県及び山口県西部(下関市、宇部市、山陽小野田市、長門市)
「前年同月比」・・・各項目における対前年同月比を百分率で増減を示す。



Ⅶ 備 考
地域経済動向

年 月	個人消費等				鉱工業生産・出荷・在庫指数		
	消費支出 (名目)	大型小売店 販売額	百貨店 販売額	スーパー 販売額	生産	出荷	在庫
	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)
元年計	2.8	△ 0.3	0.1	△ 0.4	△ 0.1	0.8	6.3
2年計	△ 1.0	△ 0.9	△ 3.7	0.5	△ 2.8	△ 1.8	5.5
2年2月	△ 7.3	△ 2.0	△ 15.6	5.0	△ 7.0	△ 6.6	4.4
3月	3.1	△ 10.7	△ 30.1	△ 0.9	△ 3.1	△ 7.0	4.2
4月	0.2	△ 25.7	△ 73.0	△ 4.9	△ 13.5	△ 17.6	1.9
5月	△ 1.9	△ 15.6	△ 58.2	2.7	△ 21.5	△ 29.7	7.4
6月	△ 4.9	△ 1.9	△ 20.1	6.1	△ 14.0	△ 18.3	2.8
7月	△ 1.5	△ 4.2	△ 18.1	2.5	△ 16.6	△ 18.4	△ 0.6
8月	△ 7.8	△ 3.8	△ 20.4	1.6	△ 15.4	△ 14.5	△ 2.4
9月	△ 4.6	△ 14.6	△ 34.5	△ 5.7	△ 8.9	△ 8.9	△ 5.1
10月	△ 10.0	4.9	△ 1.7	7.3	△ 3.4	△ 1.2	△ 6.7
11月	4.7	△ 2.0	△ 11.4	3.0	△ 3.4	△ 2.3	△ 6.8
12月	0.5	△ 2.2	△ 10.3	2.1	△ 0.8	△ 0.6	△ 7.6
3年1月	△ 2.2	△ 8.9	△ 31.3	1.2	△ 0.2	△ 1.7	△ 10.0
2月	△ 0.6	△ 5.4	△ 14.1	△ 2.5	0.5	△ 0.2	△ 7.1
地域区分	A	B		A			
出典等	家計調査報告 (勤労者世帯) 総務省	商業統計、大型小売店販売動向 (大型小売店販売額は百貨店販売額 及びスーパー販売額の合計) 経済産業省		九州主要経済指標(鉱工業生産動向) 経済産業省			

年 月	新設住宅 着工数	公共工事 請負高	雇用情勢		物価
			有効 求人倍率	企業 倒産件数	消費者 物価指数
	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	(倍)	(件)	前年同期比 (%)
元年計	△ 1.7	1.9	1.49	593	0.9
2年計	△ 4.5	△ 2.8	1.47	652	0.5
2年2月	△ 9.4	9.8	1.34	46	0.7
3月	△ 10.8	39.7	1.28	57	0.7
4月	△ 23.8	2.7	1.22	62	0.5
5月	△ 6.0	17.0	1.14	37	0.4
6月	△ 10.3	22.5	1.08	59	0.4
7月	△ 23.5	7.8	1.07	45	0.6
8月	△ 14.7	△ 3.8	1.05	45	0.4
9月	△ 12.6	5.4	1.03	41	0.1
10月	△ 5.3	△ 22.6	1.04	42	△ 0.3
11月	△ 13.2	1.7	1.07	45	△ 0.6
12月	△ 3.2	10.9	1.06	43	△ 0.9
3年1月	△ 13.7	△ 5.2	1.07	37	△ 0.1
2月	△ 2.4	11.3	1.09	22	△ 0.1
地域区分	A	A	A	A	A
出典等	建設着工統計 国土交通省	公共工事前払 金保証統計 西日本建設業保証㈱	職業安定 業務統計 厚生労働省	倒産月報 (負債増額100 万円以上) ㈱東京工リサーチ	消費者 物価指数 総務省

地域区分A: 沖縄県を除く九州7県
 地域区分B: 沖縄県を含む九州8県
 各年計欄は、当該年の平均数値を示したものである。
 (企業倒産件数については、合計数値を示したものである。)